100% PURE NEW ZEALAND
newzealand.com

AIR NEW ZEALAND
The airline of Middle-earth

メディアリリース

ニュージーランド政府観光局
ニュージーランド航空
2014 年 11 月 11 日

ホビット・ファンがピーター・ジャクソン監督とともに映画「ホビット 決戦のゆくえ」を鑑賞
～「ホビット・ファン・コンテスト」入賞者、「中つ国（ミドル・アース）」で旅のクライマックス～

2014 年 11 月 6 日、ニュージーランドのウエリントンにて、映画『ホビット 決戦のゆくえ』の先行試写会が行われました。試写会には、「ホビット・ファン・コンテスト」で選ばれ、ホビットのロケ地である「中つ国（ミドル・アース）」（ニュージーランド）を巡る旅に参加している 75 名のホビット・ファン（日本人を含む）、同伴者、そしてピーター・ジャクソン監督と制作チームの主要メンバーが出席し、監督との Q&A セッションも行われました。

映画『ホビット 決戦のゆくえ』は、J・R・R・トールキンの傑作である『指輪物語』と『ホビットの冒険』の 16 年にわたる映画化を締めくくる作品であり、世界中のホビット・ファンにとってはこれが、大型スクリーンで「中つ国（ミドル・アース）」を観賞できる最後の機会となります。『ホビット 決戦のゆくえ』は、全世界での 12 月 17 日公開に先駆けて、日本では 12 月 13 日から映画館でご覧いただけます。

ワーナー・ブラザース全世界マーケティング・国際配給部門の代表スー・クロールは次のように述べています。

「時空を超えた物語に対する愛情をファンと同じように持ち、16 年間を投じて映画化に身をささげたピーター・ジャクソン監督が、『ホビット 決戦のゆくえ』の先行試写会に出席することは、ホビット・ファンにとってまたとない機会であり、「中つ国（ミドル・アース）」を巡る旅の最良の締めくくりと言えるでしょう。熱心なホビット・ファンの皆さんにこのような素晴らしい機会を提供できたことは、ニュージーランド航空とニュージーランド政府観光局の協力があったからです。そして、監督と制作チームが最後の旅をともにできたおかげでもあります。私たちは、監督が『中つ国（ミドル・アース）』に残したこの上なく大きな遺産である『ホビット』シリーズを、最後にもう一度お祝いすることができる機会に恵まれ、大変喜ばしく思います」

今年の「コミコン・インターナショナル」で 7,000 人の熱狂的なファンを前にして始まった「ホビット・ファン・コンテスト」には、約 30 カ国から 14 万人の応募がありました。入賞者は、同伴者（それぞれ 1 名まで）を連れてニュージーランドを巡る旅に参加しました。ファンは 6 日間の行程うち 5 日間をかけて、映画「ホビット」および「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズで使われた、北島及び南島のロケ地を巡りました。このような夢のような旅の締めくくりとして、「ファン・コンテスト」の成功とお祝いも込めて、ウエリントンにあるピーター・ジャクソン監督のプライベート・スタジオで映画『ホビット 決戦のゆくえ』のファンのための先行試写会が開かれました。監督と主な制作チームメンバーが参加し、上映後は質疑応答が行われました。

「ホビット・ファン・コンテスト」はワーナー・ブラザース、ニュー・ライン・シネマ、MGM による協力のもと実施され、ニュージーランド航空（「中つ国（ミドル・アース）」公式エアライン）、そしてニュージーランド政府観光局が、ニュージーランドにおけるホビット・ファンの受け入れを担当しました。

ニュージーランド政府観光局 CE であるケビン・ボウラーは、次のように述べています。
「『ホビット・ファン・コンテスト』によって、中つ国(は世界的に話題となり、その結果ニュージーランドの風景を世界中に広めることができました」

「ファンの皆さんを『中つ国(ミドル・アース)』にお招きし、幻想と思われた『中つ国』の世界が実は現実のニュージーランドだと知っていただいた時の反応や感動を、私たちも感じ取ることができて嬉しく思っています」

「『ホビット』シリーズは完結し、また「ホビット・ファン・コンテスト」の皆さんにもお別れを言う時が来ましたが、『中つ国(ミドル・アース)』はこれからも続くもので、どなたにでもお楽しみいただけることをお伝えしたいです」

ニュージーランド航空 CEO のクリストファー・ラクソンは、これまで「ホビット・ファン・コンテスト」に協力できたのは素晴らしいことだとして、次のように述べています。

「ニュージーランド航空は『中つ国(ミドル・アース)』の公式エアラインとして 3 年間「ホビット」シリーズに協力してきました。「ホビット」シリーズとの協力関係により、旅の行き先として『中つ国(ミドル・アース)』が注目されるよう努力してきましたが、「ホビット・ファン・コンテスト」のおかげでその目標を達成することができました。熱烈なファンの皆さんが実際の『中つ国(ミドル・アース)』を目の当たりにしたときの様子は、私たちも楽しく拝見し、これが今後ニュージーランドを再訪するきっかけになってくだされば幸いです」

▲日本から「中つ国(ミドル・アース)」を巡る旅に参加した 6 名のホビット・ファン
ミラマールのロキシー・シネマにて

【「中つ国（ミドル・アース）」（ニュージーランド）を巡る旅について】
全世界から選ばれたホビット・ファンの旅は、映画「ホビット」シリーズに登場するキャラクターたちが描かれているニュージーランド航空のボーイング 777-300ER 型機の前での記念撮影から始まりました。ニュージーランド観光地の代表格とされるロトルアへ向かい、先住民マオリの文化的なパフォーマンスや伝統的なハンギ（地中で蒸し焼きにする料理）による歓迎を受けました。続いて、ワイカト地方のマタマタ近郊にある、絵のように美しい村「ホビット庄」でご馳走と見学を楽しみ、南島クイーンズタウンへ移動しました。クイーンズタウンは「ホビット」シリーズでは数え切れないほどの戦闘シーン、また「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズの「王たちの柱」の地として使われています。最後に、ウエリントンでピーター・ジャクソン監督と会うことが実現しました。
世界中が「ホビット」シリーズの完結編である「ホビット 決戦のゆくえ」12 月公開を待ち望む中、今回の「ホビット・ファン・コンテスト」の旅の様子は、<www.tfsn.co/hobbitfanfellowship>にてご覧いただけます。

【映画『ホビット 決戦のゆくえ』に関して】
ピーター・ジャクソン監督作品。J.R.R.トールキンの小説に基づき、本作の脚本はフラン・ウォルシュ&フィリッパ・ボウエン&ピーター・ジャクソン&ギレルモ・デル・トロが執筆。ジャクソンは、キャロリン・カニンガム、ゼイン・ワイナー、フラン・ウォルシュとともに製作も担当。アラン・ホーン、トビー・エメリッヒ、ケン・カミンズ、キャロリン・ブラックウッドが製作総指揮を、フィリッパ・ボウエンとアイリーン・モランが共同製作を務める。撮影は、ニュージーランド／ウエリントンのミラマーにあるジャクソン所有のスタジオおよびニュージーランド各地のロケでおこなわれ、ポスト・プロダクションには、ウエリントンのパーク・ロード・ポスト・プロダクションが使用された。
ニュー・ライン・シネマ、メトロ・ゴールドウィン・メイヤー・ピクチャーズ（MGM）提供、ウィングナット・フィルムズ制作、原題“The Hobbit: The Battle of the Five Armies”。本 3 部作の前 2 作『ホビット 思いがけない冒険』『ホビット 竜に奪われた王国』と同じく、『ホビット 決戦のゆくえ』はニューラインが製作を幹事し、ニュー・ライン・シネマと MGM が制作。ワーナー・ブラザース映画が全世界劇場配給を、米国外の一部地域の劇場配給と全世界 TV 放送配信を MGM が担当する。日本公開は 12 月 13 日。

【本リリースに関するメディアの方からのお問い合わせ先】
■ニュージーランド政府観光局 広報担当
共同 PR 株式会社　第2業務局　内田／内藤／兼森　TEL：03-3571-5326　Email：tnz-pr@kyodo-pr.co.jp
■ニュージーランド航空 広報担当 エイレックス 田中/セブラニ TEL：03-3560-1855 E-mail: anz@arex-corp.com